

追悼記事

故、永井美之先生を偲んで

木村 宏

名古屋大学大学院
医学系研究科教授

日本ウイルス学会名誉会員の永井美之先生が令和2年1月20日に、80歳で永眠されました。ここに永井先生のご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。

永井先生は岐阜県でお生まれになり、昭和40年に名古屋大学医学部をご卒業し、同大学大学院医学研究科を修了、学位を取得しました。その後、名古屋大学医学部助手、助教授を経て、昭和59年名古屋大学医学部病態制御研究施設教授にご昇任しました。平成5年には東京大学医科学研究所教授に転出され、以後、平成10年国立感染症研究所エイズ研究センター長、平成13年富山県衛生研究所長就任を経て平成17年に理化学研究所新興・再興感染症研究国際ネットワーク支援センター長にご就任しました。この間、日本ウイルス学会理事長、同学術集会会長、国際微生物連合副理事長などをお勤めになられ、また、我が国のウイルス学の第一人者として、文部省「エイズの病態と制御に関する基礎研究」、厚生省「エイズ対策研究事業」、文部科学省「感染と宿主応答の分子基盤」といった大型プロジェクト研究の指導者、野口英也アフリカ賞医学研究部門候補者選考委員会主査、副査などの要職を歴任されました。

ウイルスの病原性（毒性）の理解は、ウイルス病撲滅のためばかりでなく、ウイルスと宿主の相互作用の解析を通して、免疫、発生など一般的な生命現象の理解に大きく貢献します。しかし、ウイルスの病原性は、ウイルス側と宿主側の数多くの因子が複雑に相互作用した結果生じる高次の生命現象であり、その実体解明は困難を極めていました。永井先生は、パラミクソウイルスを用い、ウイルスの感染に不可欠なプロテアーゼが全身性・局所性のいずれに存在するかがウイルスの病原性を決定するという「プロテアーゼ依存性原理」を提

唱し、ウイルスの病原性の分子基盤を世界ではじめて明らかにしました。また、センダイウイルスを用いて、ウイルス遺伝子を操作する新技術（リバーシジェネティクス）を確立し、ウイルス増殖の積年の課題を次々と解決するとともに、このリバーシジェネティクスを用いて創始したウイルスベクターを先端医療のツールとして用いる道を拓き、ウイルス学をはじめ医学・生物学など学術と技術の発展に大きく貢献いたしました。

また、永井先生のご功績として、感染症の研究と対策のための国際ネットワークの立ち上げと推進に絶大な指導力を発揮したことも挙げられます。かつて、我が国は、途上国援助、二国間連携などの取組はしてきたものの、複数の国々に我が国の研究者が研究拠点を設置、常駐し現地ベースの対等な共同研究を行い、同時に各拠点をつなぐというネットワーク型プロジェクトを進めたことはありませんでした。永井先生は平成17年から10年間、「感染症研究国際ネットワーク推進プログラム、J-GRID」ディレクターとして、アジア/アフリカ8か国の13の研究拠点からなるネットワークを形成し、同プログラムを牽引なさいました。参加した8大学、2研究所とそれぞれのカウンターパートを纏め上げてプロジェクトを成功に導かれました。これらの功績に対して、紫綬褒章、瑞宝中受章を受章、フンボルト賞、野口英世記念医学賞、中日文化賞、武田医学賞、日本学士院賞を受賞されました。

私は永井先生より直接ご教授いただく機会に恵まれませんでしたが、名古屋大学医学部の後輩であったこと、また同じく岐阜県出身であったことから、たいそう目をかけていただきました。平成18年に西山幸廣名古屋大学名誉教授が会長となって名古屋でウイルス学会を開催した折には、市民公開講座の企画と進行をご一緒させていただいたのはよい思い出です。一昨年、私が中心となって英文書籍を刊行した際には、本誌68巻第2号に書籍紹介文を寄稿していただきました。ご専門外のヘルペスウイルスであったのにも関わらず、書籍に目を通して頂き、過分なお褒めの言葉を頂きました。そのお礼を昨年2月に申し上げたのが、最後となってしまいました。永井先生のご生前のご厚情に深く感謝するとともに、故人のご功績を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。

連絡先

〒466-8550

愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65

名古屋大学大学院医学系研究科ウイルス学

TEL: 052-744-2207

FAX: 052-744-2452

E-mail: hkimura@med.nagoya-u.ac.jp

故 永井美之先生 御略歴

昭和40年3月25日 名古屋大学医学部 卒業
 昭和45年3月31日 名古屋大大学院医学研究科博士課程 単位取得
 昭和48年5月31日 医学博士号 授与
 昭和49年4月1日 ドイツギーゼン大学ウイルス研究所 研究員
 (～昭和51年6月30日)
 昭和59年2月1日 名古屋大学医学部附属病態制御研究施設 教授
 平成5年4月1日 東京大学医科学研究所 教授
 平成10年6月1日 国立感染症研究所エイズ研究センター長
 平成13年4月1日 富山県衛生研究所長
 平成17年7月1日 理化学研究所 新興・再興感染症研究ネットワーク推進
 センター長
 平成22年4月1日 (兼職) 科学技術振興機構「感染症研究国際ネットワーク
 推進プログラム」ディレクター
 平成27年4月1日 理化学研究所研究顧問
 平成27年7月1日 (株) アイロムグループ取締役, 理化学研究所顧問
 令和2年1月20日 ご逝去



永井美之先生

平成11年11月7日～9日 第47回日本ウイルス学会総会会長
 平成16年1月1日～17年12月31日 日本ウイルス学会理事長
 平成18年3月1日～21年3月31日 日本学術会議連携会員
 平成21年8月～23年8月 国際微生物学連合(IUMS) Vice-president

受賞(章)

平成2年7月2日 フンボルト賞(ドイツ)
 平成6年11月2日 野口英世記念医学賞
 平成7年5月29日 中日文化賞
 平成12年11月13日 武田医学賞
 平成13年11月3日 紫綬褒章
 平成13年12月19日 岐阜県土岐市功労章
 平成20年6月9日 日本学士院賞
 平成28年4月29日 瑞宝中綬章

名誉称号

平成12年4月1日 名古屋大学名誉教授
 平成21年6月16日 東京大学名誉教授
 平成22年11月7日 日本ウイルス学会名誉会員